

討 論

南スーダンの自衛隊派遣中止を 求める陳情に賛成

日本共産党(守谷 浩一 議員)

陳情第8号、南スーダンへの新たな任務で自衛隊を派遣することに反対する意見書の提出を求める陳情について賛成します。

11月10日に発表された国連事務総長報告では、南スーダン政府軍が学校を占拠し、女性を強姦し、略奪を働いたと言います。日本政府は戦闘ではなく衝突と言いますが、そんな生易しい実態ではなく、停戦協定が破綻し、自衛隊の国連平和維持活動の参加原則を満たしていないと考えます。自衛隊が新任務を付与され派遣されたわけですが、陳情理由にあるように、我が子のこ

とを考えると市民の多くが疑問視するのではないのでしょうか。自衛隊が交戦する相手は南スーダン政府軍の兵士となれば憲法違反となります。12月14日付の神奈川新聞によれば、南スーダンで大規模な戦闘が起きた7月の自衛隊の日報が廃棄されていたとのこと。文民統制が利かないという点であり、自衛隊派遣の正当性の検証に影響もある大きな問題です。求められているのは非軍事の人道支援です。日本だからこそできる国際貢献は、和平協定の政治プロセスを復活させる外交努力です。

平成28年度一般会計補正予算に賛意

さま明進会(松橋 淳郎 議員)

一般会計補正予算、生活困窮者自立支援事業費の増額は、新規相談、継続支援件数の増加に伴うものです。平成27年度の本市の実績は、新規相談件数、プラン作成件数、就労決定者数の全てが県内の市町村の平均値を上回り、事業の大きな成果が見られます。また、生活保護運営対策事業費15万円の増額は、医療扶助適正化に向けたレセプト点検事務量の増加に伴う賃金の増額によるもので、平成27年度の

レセプト点検では1名の非常勤職員が年間約5万件を行い、225.9万円余と大きな効果額を上げています。増加し続ける医療扶助の適正化に向けた取り組みを高く評価します。また、土木費の北部地区総合交通対策事業費の減額は、相武台前駅に面した事業用地の一部について地権者から用地協力の内諾が得られたため内容を精査し、補償費を減額するものです。市道38号線道路改良事業では一部で用地協力

が得られず減額されていますが、現在の用地取得面積率は71.1%で、本年度、当該地で最も大きな割合を占める所

補正予算に賛成 市民の暮らしや 生活を守る分野に重点配分を

会派に属さない議員(沖永 明久 議員)

一般会計補正予算について、いくつかの指摘事項はありますが、概ね妥当な措置として賛成します。

歳入では、法人市民税のマイナス約6.2億円をはじめ合計約10億円が当初予算を下回り、これを補うため、前年度の繰越金と財政調整基金から合計約11.3億円を繰り入れることにより、何とか財源調整を行ったものとなっています。その結果、財政調整基金の残高は約4.6億円まで低下しました。ここ2、3年、14億から16億円の期末残高を確保するという「好調さ」は、今回の補正で一転し、その前

学校環境の改善に期待 「コミュニティバス運行事業を評価

公明党(安田 早苗 議員)

議案第94号、平成28年度座間市一般会計補正予算、小学校施設環境改善交付金及び中学校施設環境改善交付金は、昨年度は防災強化事業のみであった交付金メニューが、今年度の追加予算で老朽化改修やトイレ改修事業も対象となったことにより、平成29年度予定事業を前倒しで実施するものです。学校施設は、児童・生徒の学習の場だけでなく、災害時には避難所としての役割も担うため、老朽化対策や耐震化、トイレ環境の改善は大事な事業であり、賛意を表します。

議案第94号、平成28年度座間市一般会計補正予算、小学校施設環境改善交付金及び中学校施設環境改善交付金は、昨年度は防災強化事業のみであった交付金メニューが、今年度の追加予算で老朽化改修やトイレ改修事業も対象となったことにより、平成29年度予定事業を前倒しで実施するものです。学校施設は、児童・生徒の学習の場だけでなく、災害時には避難所としての役割も担うため、老朽化対策や耐震化、トイレ環境の改善は大事な事業であり、賛意を表します。

有者から承諾が得られたことは目に見えない大きな成果であり、今後の展開を大きく期待し賛意を表します。

補正予算に賛成 「コミュニティバスは 移動制約者の利便性を高めて!!

会派に属さない議員(加藤 陽子 議員)

平成28年度座間市一般会計補正予算について、本格運行から3年経過し、見直しによる今回改定のコミュニティバス運行事業費1268万9千円は、停留所増加による利用促進、中型バス導入による乗り残しへの対応、利用料金を150円とする運行の継続性に重点が置かれており、評価します。

交通体系のあり方検討会による提言書にある基本方針、「移動制約者を主体とした市民の生活の足としての利便性の向上」については、今後も一層の取り組みが必要と考えます。高齢化が進む中、市民が座間の地で暮らし続けていけるように、交通政策に取り組んでいくことを望みます。山坂の多い入谷5丁目、栗原中央、南栗原等の地域にはコースが

財政調整基金の適正利用と 「市民の足」新始動に賛意

自民党(いさま 吉田 義人 議員)

議案第94号、平成28年度座間市一般会計補正予算について、補正の大きな要因である法人市民税の減収分6億2489万円余に對しましては、年度間の財源調整を補完するための財政調整基金を切り崩して対応しています。同基金は、平成22年3月に2億5490万円余まで減少しましたが、平成28年3月には、14億

8千万円余まで積み増しされました。必要以上の市債を発行することなく今回の減収分に対応できたことは、財政健全化に向けた当局の積極的な取り組みによるものであり、大いに評価します。次に、コミュニティバス運行事業費について、本補正は「移動制約者を主体とした市民の生活の足としての利便性

一般会計補正予算に賛成 「清川自然の村」

会派に属さない議員(安海 のぞみ 議員)

平成28年度座間市一般会計補正予算の清川自然の村施設撤去事業費の増額補正について、清川自然の村跡地に植えられるヒノキの苗木の育成及び下草刈り等5年分の補償費用を執行することにより、いよいよ完全に撤去事業が完了となります。

四半世紀にわたる清川自然の村のざまっ子たちの健全育成への貢献は多大であったと捉えます。

複数必要と考えます。武蔵野市のコミュニティバスでは停留所の間隔が200メートルとなっており、移動制約者の立場に立った停留所やコース設定の検討が必要です。また、現在の本市の移送サービスは下肢不全の方のみですが、高齢者や障がい者を対象とした個別輸送の移動支援も検討していくことを要望し、本補正予算に賛成します。



の向上」という新たな基本方針を持って、座間市コミュニティバス等交通体系のあり方検討会の意見や議会の議論を踏まえ、当初の運行予定より2カ月早い、平成29年2月1日から運行することによるものです。乗り残し解消策としての中型バスの導入、運行増便やコースの延伸、芹沢公園や座間総合病院への乗り入れ等、移動制約者の足を確保するための増額補正に賛意を表します。

そのことは本年度、本市の表彰式において、宮ヶ瀬共栄貯蓄会が、清川自然の村の管理運営を通じて青少年の健全育成に寄与したということから、感謝状が贈呈されたことにもあらわされています。この間に大きな事件、事故もなく、村の営みを無事終了するに至ったことについて、宮ヶ瀬共栄貯蓄会の皆様をはじめとする関係各位と市担当課への感謝とともに賛意を示します。